

# 令和7年産 コメ通信

第6号（令和7年7月4日）

【発行】

北秋田地域振興局農林部農業振興普及課  
（電話：0186-62-1835）

**草丈長く、茎数少ない！生育に応じた適切な管理を！**

## 1 気象経過及び生育状況

### 【気象経過】

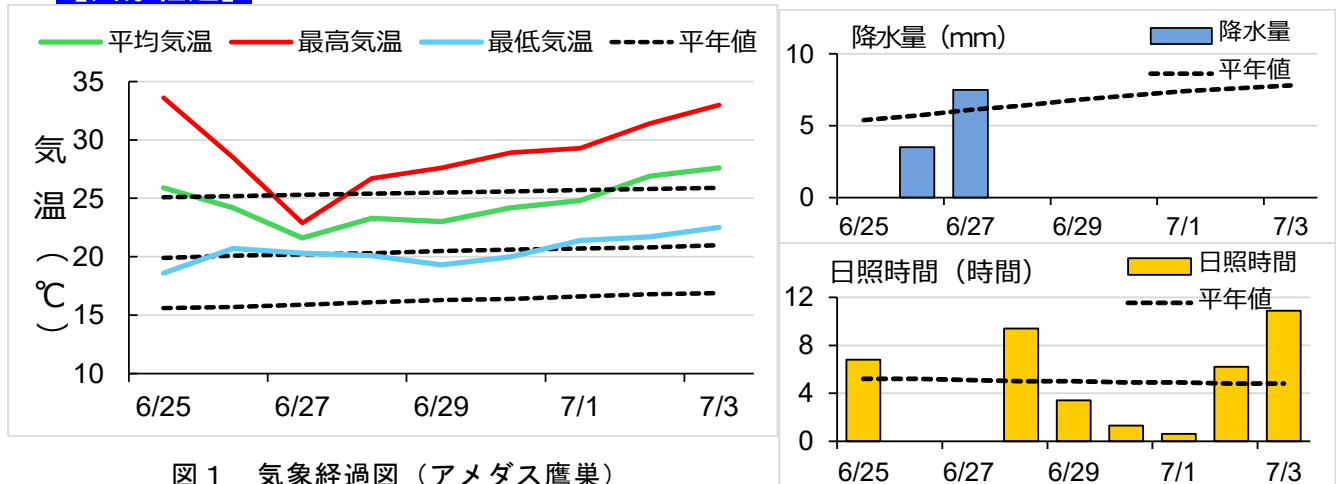


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

- 6月6半旬から7月1半旬にかけて、気温は高くなりました。また、日照時間、降水量はともに平年よりも少なく推移しました。
- 7月3日に仙台管区气象台が発表した東北地方の向こう1か月の予報によると、気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多くなる見込みです。

### 【生育状況】

- 7月5日現在の生育（あきたこまち：9地点平均）は、平年と比べ草丈が長く、茎数が少なく、葉数は平年並み、葉色は淡くなっています。
- 気温日較差が小さかったため、前回調査から引き続き茎数が少ない状況となっています。確保した茎を充実させる水管理を行いましょう。

### 【幼穂形成期の予測】

- 日平均気温から算出したあきたこまち（中苗）の幼穂形成期（幼穂長2mm期）は、平年より5日程度早まると予測されます（表2）。
- 田植え時期によって幼穂形成期に差があることから、各ほ場を確認し、次ページ以降を参考に水管理や追肥の判断を行ってください。

表1 定点調査結果（7月5日）

|     | 草丈<br>(cm) | 茎数<br>(本/m <sup>2</sup> ) | 葉数<br>(葉) | 葉色   |
|-----|------------|---------------------------|-----------|------|
| 本年  | 59.3       | 491                       | 10.4      | 42.4 |
| 平年  | 53.2       | 562                       | 10.4      | 43.8 |
| 前年  | 55.8       | 605                       | 10.8      | 45.0 |
| 平年比 | 111%       | 87%                       | +0.0      | 97%  |
| 前年比 | 106%       | 81%                       | -0.4      | 94%  |

※平年は過去10か年の平均値を示す。

※葉色はSPAD-502で測定した。

表2 あきたこまち（中苗）の幼穂形成期予測（アメダス鷹巣）

| 田植日   | 幼穂形成期（平年値）   |
|-------|--------------|
| 5月15日 | 7月8日（7月13日）  |
| 5月20日 | 7月11日（7月16日） |
| 5月25日 | 7月13日（7月18日） |
| 5月30日 | 7月16日（7月21日） |

※7月4日以降は平年値で計算した。

## 2 中干し後の水管理

- 中干し後は、根の活力を維持するため、急激な湛水管理は避けて間断かん水を行います。幼穂形成期に土壤水分が不足すると1穂着粒数が減少しますので、中干しは幼穂形成期までに終えます。
- 中干しを十分にできなかったほ場では、落水期間をやや長めとする間断かん水により地耐力を高めます。
- 「あきたこまちR」はカドミウムをほとんど吸収しないため、出穂期前後各3週間の湛水管理は不要です。間断かん水を実施し、土壤を酸化的な条件に保つことで、根の伸長を促進しましょう。
- カドミウム含有米の発生防止対策地域で、「あきたこまちR」以外を作付しているほ場では、田面が空気に触れないように出穂期の前後各3週間の常時湛水管理を徹底します。

## 3 幼穂形成期の追肥判断

### 【栄養診断による追肥の判断】

- 幼穂形成期に栄養診断（図2）を行い、表3を参考に追肥を検討してください。
- 幼穂形成期の極端な葉色低下は、1穂着粒数の減少や有効茎歩合の低下を招きます。
- 幼穂形成期に葉色が濃く草丈が62 cm以上ある場合は、倒伏の可能性が高くなるため、穂肥の施用を控えます。

表3 生育型における窒素追肥量

| 生育型   | 窒素追肥量(kg/10 a) |          |
|-------|----------------|----------|
|       | 幼穂形成期          | 減数分裂期    |
| I 型   | 2 kg           | 2 kg     |
| II 型  | 2 kg           | 2 kg     |
| III 型 | ムラ直し1 kg       | 2 kg     |
| IV 型  | なし             | 2 kg     |
| V-1 型 | なし             | ムラ直し1 kg |
| V-2 型 | なし             | ムラ直し1 kg |
| VI 型  | なし             | なし       |

※目標収量570 kg/10 a(あきたこまち)

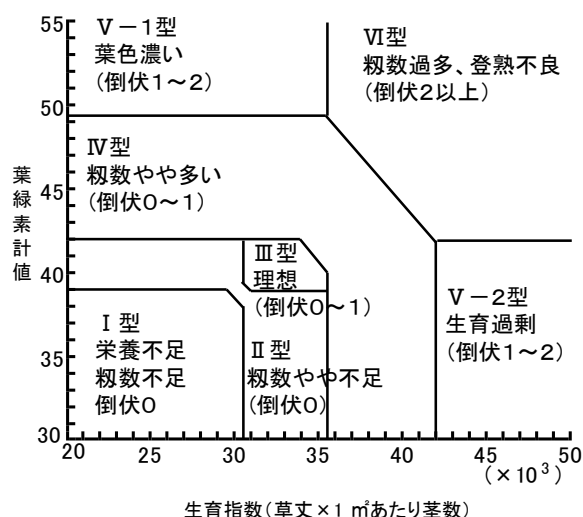


図2 幼穂形成期における栄養診断(県北)

## 4 主要病害虫の防除対策 ～ドリフトに注意！～

※飼料用米も主食用米と同様に、病害虫防除を行ってください。

### 【いもち病】 ～葉いもちの病斑が確認されています～

- BLASTAM（アメダス）の判定では、県内各地で6月12日、15日、27～28日にかけて感染好適日が観測されました。感染から発病まで通常5日～1週間かかるため、ほ場の見回りにより早期発見に努めましょう。病斑を発見したら直ちに予防剤と治療剤の混合剤（ブラシン、ノンプラス等）を茎葉散布してください。

### ◆農薬の使用回数に注意！

ラブサイド剤（ブラシン剤等含む）の成分である「フサライド」や、ビーム剤（ノンプラス剤等含む）の成分である「トリシクラゾール」の本田での総使用回数はそれぞれ3回以内となっています。農薬は使用する度に帳簿に記載し、総使用回数を超えないよう計画的に使用しましょう。

## 【紋枯病】

- 病虫害防除所による発生予報（令和7年6月24日発表）では、紋枯病の発生時期は平年よりやや早く、発生量はやや多いと予想されています。前年収穫期に発生が多かった場合は特に注意してください。
- 前年多発した場合は、本病を対象とした育苗箱施用剤を使用していない場合は、以下の表を参考に、水面施用剤による防除を行ってください。
- 穂ばらみ期～出穂期の発病株率が15%を超える場合は、下表の茎葉散布剤を稲体の株元に到達するように散布してください。

| 種類    | 薬剤名（農薬成分回数）        | 散布時期      | 使用量・希釈倍数                                                                                     |
|-------|--------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 水面施用剤 | モンガリット粒剤（1）        | 出穂20～10日前 | 4 kg                                                                                         |
|       | リンバー粒剤（1）          | 出穂15～5日前  |                                                                                              |
| 茎葉散布剤 | バシタック水和剤75（1）      | 出穂直前～穂揃期  | 粉剤・DL:3～4kg/10a<br>液剤:1,000倍<br>水和剤:1,000倍<br>[60～150L/10a]<br>フロアブル:1,500倍<br>ゴル:800～1,000倍 |
|       | バシタックゾル（1）         |           |                                                                                              |
|       | バリダシン粉剤DL（1）       |           |                                                                                              |
|       | バリダシン液剤5（1）        |           |                                                                                              |
|       | モンカットファイン粉剤20DL（1） |           |                                                                                              |
|       | モンカットフロアブル（1）      |           |                                                                                              |
|       | モンセレン粉剤DL（1）       |           |                                                                                              |
|       | モンセレンフロアブル（1）      |           |                                                                                              |

## 【斑点米カメムシ類】

- 病虫害防除所による発生予報では、斑点米カメムシ類の発生量はやや早いと予想されています。水田内のホタルイ等のカヤツリグサ科雑草やノビエの除草を徹底しましょう。
- 畦畔でイネ科雑草が出穂していると、斑点米カメムシ類の発生量が多くなる傾向にあります。出穂の10～15日前まで畦畔や農道等の草刈りを徹底し、斑点米カメムシ類の発生源をなくしましょう。地域で一斉に草刈りを行うと効果的です。

## 5 お知らせ

### カドミウム汚染米発生を防止しましょう！！

- 「あきたこまちR」以外の品種を作付している場合は、出穂前後3週間の湛水管理を必ず実施してください。
- JA・主食集荷商業協同組合加入業者以外の集荷業者や消費者へ直接販売する場合は、出荷前にロット調査によるカドミウム分析を各自で実施してください。
- URL：<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/90269>



詳しくは↑

### 令和7年度農薬危害防止運動（令和7年6月1日から8月31日まで）

近年、全国で農薬の使用に伴う周辺住民等に対する被害事例が発生しています。農薬の使用時は周辺への飛散防止に努めるとともに、農薬ラベルによる使用基準（単位面積あたりの使用量や希釈倍率等）の確認と使用履歴の記帳を徹底しましょう。

### 熱中症に注意！！

農作業中に熱中症になる人が増えています。こまめな休憩や水分・塩分の補給、帽子・空調服の着用などの対策で、熱中症を予防しましょう。

問い合わせはJAまたは農業振興普及課まで～次回発行は7月中旬頃～